

北海道余市町：第5回 Satoyama 実践者交流会 『里山×インバウンド ～ 北海道のポテンシャル ～』 開催！

The Japan Times Sustainable Japan Network（株式会社ジャパントイムズキューブ 代表取締役：末松 弥奈子）と北海道余市町（町長：齊藤 啓輔）の共催による「第5回 Satoyama 実践者交流会」を開催します。（9/28-29の2日間）

第5回目の開催となる今回はインバウンドに焦点を当て、『里山×インバウンド ～ 北海道のポテンシャル ～』をテーマに、藻谷浩介氏の基調講演や、齊藤啓輔余市町長、片山健也二セコ町長によるパネルディスカッション、また各地で地域全体の活性化に寄与する実践者の皆さんや地元の高校生に里山の視点からその活動や成果を共有いただきます。



2013年の『里山資本主義』（著：藻谷浩介・NHK 広島取材班）では、自然由来の資源に、地域で暮らす人々の手で新たに交換可能な価値を与え、安心して将来性のある地域社会を作るといった新しい資本主義のあり方が提唱されましたが、出版から11年が経過し、各地域の実践者の手により自然環境の中の様々な未活用資源が活かされ、雇用を生み、地域全体の活性化に繋がる事例が増えています。その成果を実践者同士で収集し、共有し、発信することで、その活動を持続可能で価値の高いものにするべく、2018年の広島県神石高原町を皮切りに、2020年三重県伊勢市、2021年青森県むつ市、2022年鳥取県鳥取市にて Satoyama 実践者交流会を開催してきました。本年は北海道余市町で開催いたします。

余市町は、全国トップクラスの生産量を誇るワインぶどう産地という優位性と余市町で醸造されるワインが持つ品質の力を活かし『ワインの銘醸地』としてのポジションを築くさまざまな情報発信を行っています。

2023年11月に実施した、余市町のふるさと納税特別企画「余市町感謝祭」では、希少で入手困難なワインをはじめとした特別セットを用意し、募集開始か

ら1時間で1億円を集めるなど、全国的にも注目を集めるこれからの「日本ワインの銘醸地」として名をあげつつあります。

【概要】

第5回 Satoyama 実践者交流会 『里山 × インバウンド ～北海道のポテンシャル～』

開催日：2024年9月28日（土）13時-18時（予定）

9月29日（日）余市町内スタディツアー

場 所：余市町中央公民館 余市町大川町4丁目143（余市駅徒歩8分）

主 催：The Japan Times Sustainable Japan Network、余市町

後 援：総務省、経済産業省、農林水産省、環境省、全国知事会、全国市長会、全国町村会

事務局：株式会社ジャパンタイムズキューブ

Sustainable Japan Network 事務局

Satoyama 実践交流会プログラム（1日目：9月28日）

「実践者交流会」全体テーマ：「里山 インバウンド ～北海道のポテンシャル～」

1. 基調講演：テーマ：「里山インバウンド ～北海道のポテンシャル～」
2. パネル：テーマ：「キーパーソンに聞く、北海道の成功の秘訣と課題」
3. パネル：テーマ：「北海道ガストロノミーツーリズムの可能性」
4. 地元の実践者の発表

余市町スタディツアー（2日目：9月29日）

詳しい内容は下記 HP にてご確認ください。

<https://sustainable.japantimes.com/satoyama-jissensha2024>

取材申し込みについて

9月25日（水）までに、下記問い合わせ先へご連絡ください。

※取材については、1日目の実践者交流会のみとなりますのでご了承ください。

【問合せ先】北海道余市町役場総合政策部政策推進課

電話（課直通） 0135-21-2117

Mail s.cyousei@town.yoichi.hokkaido.jp

町ホームページ <http://www.town.yoichi.hokkaido.jp/>